

一つひとつを丁寧に

大阪府

西川 にしかわ

由美子 ゆみこ



2007年、町内会役員による堺向陵公園清掃が、お掃除との出会いです。子どもの遊び場への感謝の気持ちで参加しました。草を抜いたら出てくるミミズを家に持ち帰り、鉢植えに入れました。ミミズの住む土壌は植物が生き生きするのです。

2009年、堺若竹読書会に参加すると、代表の中島和之様より、仁徳天皇陵公衆トイレのお掃除に誘っていただきました。

中島様から、「鍵山相談役は一枚のタイルを徹底的に磨きます。すると磨いていないタイルと区別できます。すると、次はどこからするかわかります。多くを雑に手掛けるのではなく、一つひとつを丁寧に仕上げる心が大切ですよ」と、教わりました。

2011年第2回関西プロック大会に参加して以来、「大阪掃除に学ぶ会」で実践を重ね、月例会を通して多くの仲間ができました。お掃除と読書会は、仲間との生き生きとした交流の場です。しかし人間関係も複雑になり、疲れたこともありました。そんな

とき、好きな言葉「誰が知らなくても、神様と私だけは真実を知っています」を胸に刻み、過ごしてきました。

そんな折、陳曉麗様から「丁寧なお掃除をしますね」「中国人にお掃除を教えてください」とお願いされました。

中国人とのお掃除は新鮮でした。感性が素直で純粹で、学びを一つも洩らさぬ真剣な姿です。私は彼らを見て初心を思い出し、傷ついた心霊が蘇り、お掃除を再び楽しく感じるようになりました。お掃除は国境を越えて心の絆もつくってくれました。

「いつも初心に戻り、一つひとつを丁寧に」、これが私のお掃除道を通して得た学びです

(5918023大阪府堺市北区中百舌島町1-84-7)

掃除道とは、調和にあり

大阪府

宮崎^{みやざき}

正志^{ただし}



「本物は、後ろ姿に表われる」

掃除の会で体育館の後方に正座され、参加者を見守っておられる鍵山相談役の「菩薩様」のようなお姿が忘れられない。

教育の根本は、「教える」ではなく、「見守る」「寄り添う」「導く」

ことだと気づかせていただいた。

掃除とは場をきれいにするだけではなく、身を低くし、実践を通して心を磨くもの。それは何かを身に付けるといっても、余分なものを取り除き、本来あるべき自分に立ち返る場である。

誰かのためにとかではなく、掃除を通して自身と向き合い、自身の「我」「欲」を捨て去る。掃除を通して、自身の生き方に繋げることにより「掃除」から「掃除道」へと変化していく。

今の教育現場では、こういった機会が少なくなっている。世の中が簡単・便利になり、手間暇をかけること、人との繋がりを大切にするという、本来あるべき本質からかけ離れていると感じる。

「平凡なことを非凡に努める」

という言葉が腑に落ちた。

「野球のバットを振る姿より、ホウキを持ち掃除をする姿に人間性が見える」

自身と向き合い、黙々掃除をする姿に生きざまを感じて、美しい。身心とその場の空気が調和し、時空を超えて一つになっていると感じる瞬間である。

私は大学で野球部の監督をしている。早朝の練習前、グラウンドのトイレ掃除をするのが日課で、自分と向き合う大切な時間になっている。

黙々と便器に向かう学生の姿に、未来に向かう無限の可能性と、人としての成長を感じる。そういった人が育つ環境を、これからも創り続けていきたい。

(574 0014 大阪府大東市寺川2-2-25)

ご縁

鹿児島県

土橋

真也



20年くらい前、母が友人から「掃除に学ぶ会」のことを聞いてきて、私はトイレ掃除に参加してみました。そのときは、手洗い場の担当だったからなのか、あるいは噂に聞いていた「目からウロコが

落ちる」ほどのこともなく、それほど感動はありませんでした。

ただ「トイレ掃除ってよい活動なんだろうな」と感じたことから、その後2回、3回と参加して、いろいろなことを思ったり感じたりしてきました。

ほとんど初めて会う人たちですが、一緒に便器を磨いていると、以前から知り合いだったような感じになります。

心は取り出して磨けないといわれますが、約2時間の実践での取り組み姿勢は、私の心を映しているように感じ、さらに私の中の悪いものが汗で出ていくような気がしました。

お掃除をしていると、道具の大切さ、節水、環境への配慮など、いろんなことに気づきます。リー

ダーや先輩、仲間からは、無駄のない効率の良い方法のアドバイスから、日本を担う若者たちへ伝える気持ちや思いを学ばせてもらっています。

大会開催では、事前準備、時間管理、参加者へ伝えること、会場の学校や公園への感謝の気持ちなど、多くのことを学びます。

写真は、現在中学1年の娘(13)が5歳のころ、鍵山相談役と掃除をしている写真です。

掃除をしてきて、相談役や「鹿児島掃除に学ぶ会」の鎌田善政様など、普通だったらお会いすることもなかったらどう方々との「ご縁」は、私の人生の大切な財産となっっています。

(8910403 鹿児島県指宿市十二町97-1)

社風の骨格としての掃除

宮城県

柳田 聡やなぎだ さとし



株式会社ホットマンは、社長の伊藤信幸が鍵山相談役に大きく影響を受け、1984年イエローハットグループに加盟し、掃除に取り組んできました。そして日本を美しくする会の趣旨に賛同し、1996年「宮城掃除に学ぶ会」

を立ち上げました。

第一回は、宮城県岩沼市の市役所で開催しました。取引先や知り合いなどに声掛けし、当社社員も参加して、模索しながら行ないました。

会を重ねていると、さまざまな問題、たとえば早朝に実施してご近所様へ配慮が不足したり、開催日の気温の急上昇や水道水の不足などがありました。これらの経験を改善しながら、理想のゴールに向かっていきます。

村井嘉浩宮城県知事も、毎回忙しい公務の合間をぬって参加していただいています。マスクミで取り上げられることで、認知度が向上しています。これまでに24回開催しましたが、コロナでこの2年中止しています。

当社では、トイレ掃除は新入社員研修に始まり、各店舗の日課としています。お客様にトイレを快適に利用していただき、また私たちの学びにもなります。

これまで、全国各地や台湾、中国などの大会にも社員を連れて参加し、社会見分を広げ、学びを会の運営に活用しています。

私は以前は自己満足な掃除でしたが、次第に掃除に学び、掃除への向き合い方が変わり、仕事や家族に対しても姿勢が変わったように思います。

掃除は、過去も未来も人間力を向上させる、社風の重要な骨格と考えています。これからも伝統として受け継いでいくよう日々邁進してまいります。

(982-0034 宮城県仙台市太白区西多賀4-4-17)

世界平和は掃除から

東京都

岡田 おかだ

康男 やすお



私が、鍵山秀三郎先生とご縁をいただいたのは、2014年3月東京京橋ライオンズクラブ（現東京京橋八重洲ライオンズクラブ）の講演をお願いしたことがきっかけで

ある。同クラブ創立五十周年記念行事として「掃除実践60年・人生と生き方」をテーマとする特別講演をしていただいたのである。同クラブは、私が会長を拝命した2007年から、奉仕活動の柱の一つとして、銀座1丁目の早朝掃除を月2回行なっており、ちょうど7年目になっていた。

先生の講演は「掃除」を中核とする「5S」（整理・整頓・清掃・清潔・躰が人生、会社運営において、いかに重要であるかを具体的に指摘するもので、出席者に大きなインパクトを与えるものであった。先生との交信が増えるに伴って、先生の忠実無比の秘書阿部豊さんとも親交をいただいた。

あるとき、トイレ掃除や街掃除の結果、荒れた学校が穏やかな進

学モデル校になったりする劇的な改善の実例が珍しくないこと、および阿部さんが参加した「日本を美しくする会」の東欧での清掃活動など国外での掃除の普及のことが話題になった。

そして、それなら、掃除を日本中、世界中に普及することが日本を変え、世界を変える特効薬といえるのではないか。「日本を美しくする会」と「ライオンズクラブ国際協会」がコラボして、掃除の世界普及に努めることが世界の平和を表現するシンプルかつ効果的方法なのではないか。そうだ、「世界平和は掃除から」なのだ。2人ですっかり盛り上がった。しまった。

（102-0093東京都千代田区平河町1-7-10

太陽コスモ法律事務所

悟了同未悟

大阪府

北川

伝吉



1998年、寺田一清先生の
導きで掃除と出逢い、鍵山相談
役からは、ユニークなたとえ話で
お諭しいたごき、多くの学びをい
ただきました。

24年間毎月例会を続けていま
す。トイレ掃除を通じて、先生
方や生徒さんたちと共に学び、
地域社会をより良くすることを
願ってきました。荒れていた学校
がすばらしい学校にと変わるこ
ともありました。

参加者は、研修で会社から派
遣されて来た方、選挙区内の学
校だけ参加される議員先生、家
族の病気を治したい一念で参加
された方など、いろんな事情や
思いをお持ちでした。続いた方は
少ないですが、参加していただ
けるだけでありがたく、伝えてい
こうと思います。

しかし自分自身の足元を見つ
めると、「何も変わっていない」こ
とに気づきました。人には8つの
埃があるそうです。「惜しい・欲

しい・憎い・可愛い・恨み・腹立ち・
欲・傲慢」。この心の埃をとるため
に掃除をするのですが、なかなか
除けません。人のためか、自分の
ためか、心を磨くためか、あるい
はそれ以上のものがあるのか、私
自身迷いながら続けてまいりまし
た。最近やっと、「自分のためにす
ることだ」と、思い至りました。

「掃除に学ぶ会」を通して魂の
友と出合い、掃除を通じて魂が
輝く瞬間があります。いまだ埃
だらけの私ですが、何か見えぬも
のに導かれて歩んできたよう
です。見た目は少しも変わりませ
ないので、「悟了は未悟と同じ」であ
れば良いのですが。今後、魂の
光輝く方々に導いていただきま
すよう、続けてゆく所存です。

(590・0403大阪府泉南郡熊取町大久保中2・28・11)

黄色い横断旗を キレイにして

群馬県

佐藤

任一



私が「凡事徹底」の言葉に出会ったのは、2015年1月の上司の発言でした。私の職場では、「子どもを交通事故から守る」プロジェクトの具体策を、職員数名が発表することになっていました。よい案が浮かばず悩んでいた私は、その言葉にハッとしました。

上司からイエローハット創業者の言葉だと聞いて、早速イエローハットへ赴き、鍵山相談役を

知りました。図書館で相談役の著書を読むと、どれにも「掃除」と「誰にでもできる平凡なことを続ける」ことが書かれていました。

さて発表の日、私は「黄色い横断旗の活用」について述べました。あまり使われてない横断旗をきれいにし、多くの子どもに使ってもらうことを提案しました。結局採用されませんでした。過去の実施策を見直して数人で行なうことになりました。同僚と約2週間、毎朝約1時間、子ども間の交通事故の多い地区を選んで、タワシ、スポンジ、雑巾を使って横断旗の汚れを落とし、交差点周辺のゴミ拾いを行な

いました。

私が清掃から学んだことです。

一つは、掃除をしていると3日目くらいから「おはようございます」と通りすがりの人が挨拶をしてくれるようになったのです。清々しく気持ちの良いものでした。

二つめは、横断旗の汚れを落とすと気持ちもスッキリし、さらにゴミ拾いした後の交差点は晴れやかで心地良いものになりました。

清掃は単純な作業ですが、この平凡なことを徹底して実践していくと、非常に後味の良いものになると実感します。私はそれ以来、掃除の威力に惹かれ、微力ですが継続しております。

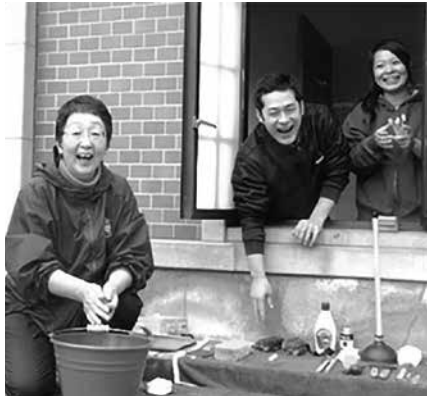
(374023群馬県館林市大手町7-20402)

私の宝物

山形県

黒沼くろぬま

範子のりこ



談役のこの言葉が、その年の「山形掃除に学ぶ会」の立ち上げにつながりました。

この年は、私が勤務税理士として30年間お世話になった会計事務所から、主人やスタッフと独立する幸運に恵まれた年から、5年を経たころでした。小さいながらもお給料を払う立場となり、勤務税理士時代とは違い、夢中で過ごしていた時期で、相談役との出逢いは、「逢うべき人には必ず逢える。しかも一瞬早すぎず、一瞬遅すぎないときに」だったと思います。

それ以来、特別な力も才能もない平凡な私どもには、鍵山語録から学んだことを、意識して事務所経営やお客様への対応に活かしてまいりました。熱心に耕すことは、実りの差はそれほどなくとも、

実践した自分に相応の意味がある、自分の糧になる「力耕不吾欺」であると思つて、事務所経営を続けてきました。

具体的な実践例を挙げますと、①事務所通信「向日葵だより」（1997年10月創刊から寸断のない発行）②経営方針書作成実践セミナー（1998年10月から2000回超の連続開講）、③講演会、はたごまち生き活き講座（1995年7月から43回開催）、④山形掃除に学ぶ会（1997年6月より126回の活動）、⑤当たり前グランプリ（2010年より12年目）などです。

今後これまでに以上に明確な意識を持つて活動したいと思つています。

（990-0047山形県山形市旅籠町3-1-4

食糧会館3F）

「力耕不吾欺」

（りきこうわれをあざむかず）

鍵山相談役との出逢いは、1997年7月の「第一回沖縄掃除に学ぶ会」でした。そのときの相